



17年の苦闘の末、
無肥料・無農薬の林檎を
つくった木村秋則

あらすじ

化学物質過敏症の早苗は、近所のゴルフ場の農薬で息ができなくなり、母と二人で呼吸できる場所を探しに車で旅にでる。しかし農薬や排気ガスで発作を起こし、旅は困難を極める。二人が辿りついたのは標高千m地点でのテント生活。しかしそのテント生活も安全ではなかった。早苗が絶望の淵で生きる希望を失わないのは、かつて水が一滴も飲めなくなった時命を救ってくれた林檎を作った人に会いたかったからだ。

化学物質過敏症とは……地球環境が危ないと叫ばれている。ホッキョク熊が絶滅の危機にあると報道されている。しかし危ないのは、地球や野生動物だけだろうか。実は私たちの身体も、環境に影響を受け、悲鳴をあげている。それが化学物質過敏症だ。国内で重症患者70万人とも90万人ともいわれている化学物質過敏症。

早苗は、その中で最も重症と思われる苛酷な状態にある。100メートル先の煙草にも呼吸困難を起こし、自分が白をひいて作ったうどんしか食べるができない。カメラが近づいても息が苦しい。

呼吸困難、昏睡、転倒、電磁波過敏、早苗さんの苛酷な症状をカメラは追った。

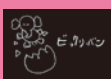
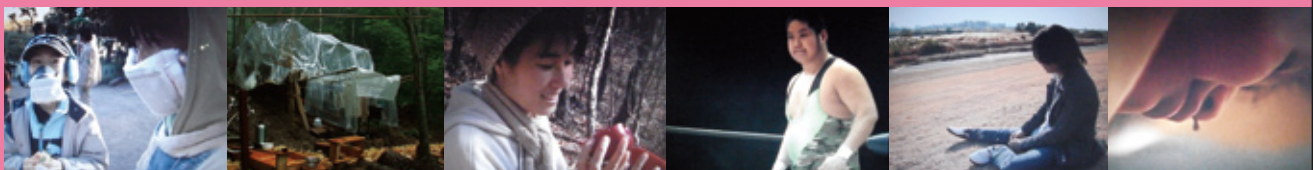
そして、かつて早苗が水が飲めなくなり生命の危機に瀕した時、早苗を救ったのは現代医学ではなく、無肥料無農薬の林檎だった。その林檎は木村秋則が17年の苦闘の末に、実らせた林檎だった。このお話は化学物質に侵された女性が自然栽培の林檎で命を繋ぐことができたという現代のメルヘンともいえる。

昨年、国は保険の病名登録を認めたが、診断出来る医師はごく少数しかいない。重症になると仕事にも就けず、学校にも行けない。家族にすら理解されず、追いつめられていく化学物質過敏症患者の人たち。

一人でも多くの人に、この病気の恐ろしさを知ってほしいと自分の苛酷な症状を撮影させてくれた、早苗の勇気あるドキュメンタリーともいえる。

いのちの
林檎

これはSFではない。現実なのだ！
世界で初めて化学物質過敏症を描いたドキュメンタリー



監督●藤澤勇夫 岩手県釜石市生まれ。劇映画「パイパイラブ」製作・脚本・監督 2009年自主製作ドキュメンタリー「からっ風は知っている ころも学園物語」2010年自主製作ドキュメンタリー「いのちの林檎」
製作●馬場民子 広島県呉市生まれ。ラジオドラマ、アニメのシナリオを経て、記録映画「からっ風は知っている ころも学園物語」企画・構成・プロデューサー「いのちの林檎」製作・構成

●主催 優れたドキュメンタリー映画を観る会 代表 飯田光代 ●後援 世田谷区教育委員会 世田谷ボランティア協会 世田谷こどものいのちのネットワーク 星野弥生 下高井戸シネマ 市民運動いち 人の泉“B” たつなみ会 自立の家を作る会 シネマとフェミニズム研究会 日本文理映画研究会 マレット 悠愉学舎 ガラージュ・ペー ダランネの会 あしたや共働企画 グラス・ホッパー フリースペース寺子屋 らくだとTUBO 蕎麦処くりはら 風を編む 7つの水仙 岩本酒店 まだん陶房 サロンプルミエール ●推薦 CS支援センター 知ってねおうく



北沢タウンホール {10月15日(金)}



155-8666 東京都世田谷区北沢2-8-18 TEL:03-5478-8006 <http://kitazawatownhall.jp/index.html>
●小田急線・井の頭線 下北沢駅南口下車 徒歩4分

時間 | 1回目 {貸し切り} ★化学物質過敏症の方達とご家族のための上映会 | 2回目 {一般} | 3回目 {一般}
| 10:30→12:30 一般の方の入場はできません | 13:30→15:30 | 19:00→21:00

料金 999円 お問い合わせ ●ビックリ・パン 090-1651-4496 ●優れたドキュメンタリー映画を観る会 080-3483-3811 Fax:03-3426-7053